

雄物川水系河川整備計画(素案)に対する意見募集の実施結果

実施期間:平成21年7月30日～平成21年8月31日

平成26年9月
国土交通省 東北地方整備局

パブリックコメントの実施内容【広報】 実施期間：平成21年7月30日～平成21年8月31日

記者発表(投げ込み)

平成21年7月28日
秋田河川国道事務所
湯沢河川国道事務所
玉川ダム管理所

雄物川のこれからの川づくりについて意見をお聴かせ下さい
～雄物川水系河川整備計画（国管理区間）について～

○国土交通省では、雄物川及び各支川の概ね30年間の河川整備のあり方を定める「雄物川水系河川整備計画（国管理区間）」の策定作業を進めております。

○河川整備計画の策定にあたっては、洪水時の危機管理、情報の共有、日常の管理のあり方、人やすらぎを与える川のあり方などについて、流域に住む皆様のご意見をいただきながら進めていくこととしております。

○今回、雄物川水系の流域に住む皆様のご意見をいただくため、「地域の方々の意見を聴く会」の開催と「雄物川水系河川整備計画【素案】（国管理区間）の閲覧」を実施します。

【意見募集期間】 平成21年7月30日～平成21年8月31日

【意見募集方法】

(1) 「地域の方々の意見を聴く会」
雄物川水系河川整備計画【素案】（国管理区間）について、地域の方々の意見を聴く会を開催します（入場無料）。
雄物川水系河川整備計画【素案】を説明し、ご意見を頂きます。

- 8月4日 19:00～21:00 東成瀬村防災情報センター
- 8月6日 19:00～21:00 羽後町活性化センター
- 8月7日 19:00～21:00 雄物川コミュニティセンター
- 8月19日 19:00～21:00 湯沢生涯学習センター
- 8月24日 19:00～21:00 秋田市雄和市民センター
- 8月26日 19:00～21:00 秋田市西部市民サービスセンター
- 8月27日 19:00～21:00 大仙市大曲交流センター

※当日、先着順より参加の受付を行います。希望者多数の場合は、会場の都合により入場できないことがあります。

(2) 「雄物川水系河川整備計画【素案】（国管理区間）の閲覧」
河川整備計画【素案】の閲覧、素案概要パンフレットの配布を下記の場所で行い、パンフレット添付の葉書により意見を募集します。

（資料閲覧・配布場所）
・国土交通省 秋田河川国道事務所 及び 茨島出張所
・国土交通省 湯沢河川国道事務所 及び 各出張所
・国土交通省 玉川ダム管理所
・関係市町村
（秋田市道路建設課、大仙市道路河川課、仙北市建設課、横手市建設監理課、湯沢市建設課、美郷町建設課、羽後町建設課、東成瀬村産業建設課）

※その他、上記以外でも素案の閲覧、パンフレットの配布している箇所（市町村支所等）もあります。詳しくは湯沢河川国道事務所 調査第一課（TEL0183-73-5544）までお問い合わせください。

ホームページでも河川整備計画【素案】を公開し、FAX及びメールでの意見を募集します。

- 公開URL（湯沢河川国道事務所）：<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>
- 意見募集FAX（湯沢河川国道事務所）：0183-72-2164
- 意見募集メール（湯沢河川国道事務所）：yuzawa@thr.mlit.go.jp

ホームページへの掲載

●秋田河川国道事務所 ホームページへのバナー貼付

あきた道情報STATION

新着情報

- 雄物川水系河川整備計画(素案)の意見を募集しています。(2009年7月30日) UP
- 入札公告更新しました。(2009年7月29日) UP
- 子鹿川出張所ホームページを更新しました。(2009年7月30日) UP
- 入札公告更新しました。(2009年7月29日) UP

事務所ニュース

記者発表資料

秋田河川国道事務所のご案内

工事進捗状況

高速道路の料金引下げ

河川水難事故に注意

雄物川水系河川整備計画

意見募集しています!

●玉川ダム管理所 ホームページへのバナー貼付

玉川ダム

7月10日 入札公告更新しました

7月8日 キョウリウを変更しました

7月2日 平成20年度のダム管理費を公表しました

ダムの中、入ってみよう

意見募集しています!

●湯沢河川国道事務所 インターネットによる意見募集

意見募集しています!

雄物川のこれからの川づくりについて、ご意見を聴かせ下さい

～雄物川水系河川整備計画（国管理区間）の策定について～

▼概要

国土交通省では、概ね30年間の河川整備目標と河川整備内容を定めた「雄物川水系河川整備計画（国管理区間）」の策定作業を進めております。

河川整備計画の策定にあたっては、洪水時の危機管理、情報の共有、日常の管理のあり方、人やすらぎを与える川のあり方などについて、流域に住む皆様のご意見をいただきながら進めていくこととしております。

このため、「意見を聴く会の開催」「雄物川水系河川整備計画(素案)の閲覧」を実施します。

▼閲覧・配付資料 及び 応募方法

意見を募集するための閲覧・配付資料については次のとおりです。

- 閲覧資料:雄物川水系河川整備計画(素案) (PDF: 14.5MB)
- 配付資料:雄物川水系河川整備計画(素案)概要パンフレット (PDF: 5.892KB)

応募される方は、ご意見お住まいの地域を明記の上、電子メール、FAXでお送りください。なお、PDFから出力されたプリントのハチキはご投函できませんが、メールやFAXではご利用いただけます。

- 電子メール(湯沢河川国道事務所 調査第一課まで) : yuzawa@thr.mlit.go.jp
- FAX (湯沢河川国道事務所 調査第一課まで) : 0183-72-2164

▼意見募集期間
平成21年7月30日～平成21年8月31日

▼その他の意見募集方法について

(1) 雄物川水系河川整備計画(素案)について意見を聴く会の開催
雄物川水系河川整備計画(素案)を説明し、ご意見を頂きます。

開催場所は、以下のとおりです。(入場無料)

- 東成瀬村 : 東成瀬村防災情報センター 平成21年8月4日(火) 午後7時～9時
- 羽後町 : 羽後町活性化センター 平成21年8月6日(木) 午後7時～9時
- 横手市/美郷町 : 雄物川コミュニティセンター 平成21年8月7日(金) 午後7時～9時
- 湯沢市 : 湯沢生涯学習センター 平成21年8月19日(水) 午後7時～9時
- 秋田市 : 秋田市雄和市民センター 平成21年8月24日(月) 午後7時～9時
- 秋田市 : 秋田市西部市民サービスセンター 平成21年8月26日(水) 午後7時～9時
- 大仙市/仙北市 : 大仙市大曲交流センター 平成21年8月27日(木) 午後7時～9時

※当日、先着順より参加の受付を行います。希望者多数の場合は会場の都合により入場できないことがあります。

(2) 資料の閲覧・配布による意見募集
河川整備計画(素案)の閲覧、素案概要パンフレットの配布を下記の場所で行い、パンフレット添付の葉書により意見を募集します。

- 国土交通省 秋田河川国道事務所 及び 茨島出張所
- 国土交通省 湯沢河川国道事務所 及び 各出張所
- 国土交通省 玉川ダム管理所
- 関係市町村(秋田市道路建設課、大仙市道路河川課、仙北市建設課、横手市建設監理課、湯沢市建設課、美郷町建設課、羽後町建設課、東成瀬村産業建設課)

※その他、上記以外でも素案の閲覧、パンフレットの配布している箇所(市町村支所等)もあります。詳しくは下記までお問い合わせください。

▼お問い合わせ先

- 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第一課 TEL 0183-73-5544(直通)
- 国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所 調査第一課 TEL 018-864-2288(直通)
- 国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所 管理係 TEL 0187-49-2170(直通)

市町村広報誌掲載

●4市2町1村の広報誌に掲載

(秋田市・湯沢市・横手市・大仙市・
仙北市・美郷町・羽後町・東成瀬村)



8/7発行 秋田市

8/1発行 仙北市

4 雄物川の川づくりに関する意見を募集

国土交通省では、策定中の「雄物川水系河川整備計画」に対するご意見を募集しています。計画の素案やパンフレットは、秋田河川国道事務所、同茨島出張所、市役所4階道路建設課、雄和市民センター、または秋田河川国道事務所ホームページでご覧いただけます。提出 パンフレット付属のはがき、またはEメールで、8月31日(月)まで、秋田河川国道事務所へどうぞ。

※意見を聴く会を開催します。時間は午後7時～9時。直接会場へ。
雄和市民センター 8月24日(月)
西部市民サービスセンター 8月26日(水)
●問い合わせ 秋田河川国道事務所調査第一課 (0187) 52-1000

雄物川のこれからの川づくりについてご意見をお寄せください

～雄物川水系河川整備計画(国管理区間)の策定について～
国土交通省では、概ね30年間の河川整備目標と河川整備内容を定めた「雄物川水系河川整備計画(国管理区間)」の策定作業を進めています。河川整備計画の策定にあたっては、人に関与される川のあり方、洪水時の危機管理、情報の共有、日頃の管理のあり方などについて、市民の皆様のご意見を伺いながら進めています。このため、「意見を聴く会」(雄物川水系河川整備計画)を実施します。詳しくは問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
募集期間 8月31日まで
問合せ：
国土交通省 湯沢河川国道事務所 調査第一課
ホームページURL: <http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>
TEL: 0187-521000
ホームページURL: <http://www.thr.mlit.go.jp/>



8/1発行 湯沢市



募集 雄物川のこれからの川づくりについてご意見を聞かせてください

国土交通省では、おおむね三十年間の河川整備目標と河川整備内容を定めた「雄物川水系河川整備計画(国管理区間)」の策定作業を進めています。河川整備計画の策定にあたって、雄物川流域に住む皆さまのご意見をききながら進めていくために、「意見を聴く会」を開催します。

○とき 8月19日(水)午後7時～9時
○ところ 湯沢生涯学習センター
○意見募集期限 8月31日(月)
※市建設課土木班または湯沢河川国道事務所および各出張所で河川整備計画(素案)の閲覧、概要パンフレットの配布をしています。また、左記のホームページからもダウンロードできます。

○問い合わせ 湯沢河川国道事務所調査第一課 (0187) 5544、ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

素案(閲覧用)、パンフレット(配布用)設置状況

<ハガキによる意見募集(53施設へ設置)>

<素案閲覧・パンフレット配付状況>



パブリックコメントの実施内容 ～意見を聴く会の開催～

意見を聴く会の開催状況



東成瀬村防災情報センター(H21.8.4)



秋田市雄和市民センター(H21.8.24)



雄物川コミュニティセンター(H21.8.7)



大仙市大曲交流センター(H21.8.27)

パブリックコメント(住民意見募集)の実施状況・結果

● はがき、メール等による意見募集 (平成21年7月30日～8月31日)

	提出者数	意見数
はがき	59人	88件
メール	4人	4件
FAX	0人	0件
合計	63人	92件

● 意見を聴く会の開催 (平成21年8月4日～27日)

開催場所	参加者数	発言者数	意見数
東成瀬村防災情報センター 平成21年8月4日(火)19:00～	19人	5人	14件
羽後町活性化センター 平成21年8月6日(木)19:00～	1人	1人	2件
雄物川コミュニティセンター 平成21年8月7日(金)19:00～	31人	6人	10件
湯沢生涯学習センター 平成21年8月19日(水)19:00～	14人	4人	9件
秋田市雄和市民センター 平成21年8月24日(月)19:00～	16人	6人	10件
秋田市西部市民サービスセンター 平成21年8月26日(水)19:00～	5人	2人	4件
大仙市大曲交流センター 平成21年8月27日(金)19:00～	23人	8人	10件
合計	109人	32人	59件

● 集計した151件の分類毎の整理

意見分類	意見総数
1. 河川整備の実施	42
2. ダム建設	47
3. 利水	5
4. 環境	22
5. 維持管理	15
6. 危機管理体制の整備・強化	5
7. 河川整備計画全般	14
8. その他	1
	151

次頁以降に前回のパブリックコメント(平成21年7月30日～8月31日)で頂いた主な意見について、東北地方整備局の考え方を記載しています。

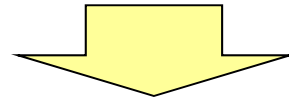
なお前回のパブリックコメントでの地域の方々の意見については、今回の河川整備計画(素案)に可能な限り反映しています。

雄物川水系河川整備計画【素案】に対する主な意見と東北地方整備局の考え方

1.河川整備の実施

素案に対する主な意見

- ① 洪水が起きてからでは遅いので、流域全体で未然の防止をするよう、堤防、掘削、ダムを早期に進めてほしいと思います。
- ② 大きな自然災害があった場合、大きな不安要素があるため、無堤解消に前向きに取り組んでもらいたい。



<東北地方整備局の考え方>

- 本計画では、過去の水害の発生状況、流域の重要度、これまでの整備状況等を総合的に勘案し、雄物川水系河川整備基本方針に定めた目標に向けて、上下流及び本支川の治水安全度のバランスを確保しつつ段階的かつ着実に河川整備を実施し、洪水による災害の発生の軽減を図ることを目標とします。

本計画で定める河川整備を実施することで、昭和以降に発生した代表的な洪水と同規模の洪水に対して、外水氾濫による浸水被害の軽減を図ることが可能となります。

この目標に対し、適切な河川の維持管理に努めるとともに、①②堤防の整備、河道掘削、洪水調節施設等の整備を計画的、効率的に実施します。その際、地域毎の整備状況を十分に踏まえ、河道整備によってその下流側に流量が増加することにも配慮しつつ、流下能力のバランス等を考慮して、水系一貫した河川整備を実施します。【素案P86】

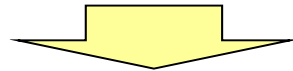
雄物川水系河川整備計画【素案】に対する主な意見と東北地方整備局の考え方

2.ダムの建設

素案に対する主な意見

- ① 洪水被害の軽減、安定した農業用水と生活用水の確保の観点から、成瀬ダムの建設を推進してほしい。
- ② 豊かで多様な自然環境を次世代へ継承するためには、成瀬ダムは不要です。
- ③ 森林は緑のダム、日本最大の社会資本です。森林の維持・管理にお金をかけるべきです。
- ④ 岩手・宮城県地震を見ても、今度地震があったら、ダムが出来て大丈夫か心配です。

<東北地方整備局の考え方>



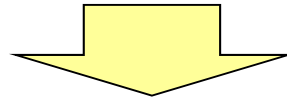
- ・ ①②雄物川沿川の洪水被害の軽減、水需要への対応や渇水被害の軽減を図るため、雄勝郡東成瀬村に、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の供給、発電を目的として、成瀬ダムを建設しています。 **【素案P107】**
- ・ 成瀬ダム建設事業は、平成21年12月に「新たな基準に沿った検証の対象となるダム事業」に選定され、「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づき、主要な段階でパブリックコメントを行い、ダム事業の検証を行ってきました。（詳細は東北地方整備局及び湯沢河川国道事務所のホームページで公表しています。）
- ・ ①②③検証においては、成瀬ダムの目的別（洪水調節、新規利水（かんがい及び水道）、流水の正常な機能の維持）に、成瀬ダムを含む案と含まない案を立案し、概略評価により対策案を抽出し、安全度、コスト、実現性、持続性、柔軟性、地域社会への影響、環境への影響の評価軸から評価を行い、目的別の総合評価を踏まえて、成瀬ダムの総合的な評価を行いました。その結果、成瀬ダム事業の「継続」が決定しました。
- ・ 成瀬ダムでは、②閣議決定に基づく環境影響評価（平成11年5月）を実施しており、水質汚濁、地形・地質、植物、動物及び景観について、②予測及び評価を実施するとともに保全対策を検討し、事業実施において反映させることとしています。
- ・ ④国土交通省所管のダムは、河川管理施設等構造令等に基づき、震度法を基本とする耐震設計を行うこととしています。また、成瀬ダム周辺における近年の大規模地震では、平成20年6月14日（岩手・宮城内陸地震）東成瀬村椿川で震度5強、平成23年3月11日（東北地方太平洋沖地震）東成瀬村椿川で震度4を観測していますが、この④地震により成瀬ダム周辺において大規模な被害は発生していません。

雄物川水系河川整備計画【素案】に対する主な意見と東北地方整備局の考え方

3.利水

素案に対する主な意見

- ① 安定した農業用水、生活用水を確保するため河川の整備計画が必要である。
- ② 通年を含めて安定した河川等への水量が確保される計画にしてほしい。



<東北地方整備局の考え方>

- ・ 雄物川水系河川整備基本方針に定められた雄物川の流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、樺川地点において概ね80m³/sです。
また、渇水被害にたびたび見舞われている皆瀬川において必要な流量は、岩崎橋地点において概ね2.8m³/sです。
①②ダムからの補給、関係機関と連携した水利用調整等により、河川環境の保全や広域的かつ合理的で適切な水利用の促進を図りながら、流水の正常な機能の維持に努めます。【素案P110】
- ・ ①②流域全体の水利用や本川・支川の流量、水質等を適正に把握するとともに、限りある水資源の有効活用を図るため、関係機関との連携による水利用の合理化等について検討を進めます。また、渇水発生時の被害を最小限に抑えるために、関係機関との情報共有や取水調整等を行い流水の適正な管理に努めます。【素案P111】

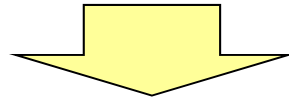
【素案関連頁】: 雄物川水系河川整備計画(素案)平成26年7月版
流水の正常な機能の維持 110頁
適正な水利用 111頁

雄物川水系河川整備計画【素案】に対する主な意見と東北地方整備局の考え方

4.環境

素案に対する主な意見

- ① 自然環境を守る整備をしてほしい。
- ② 水質改善のための工夫をお願いしたい。
- ③ 景観の保全について良好な景観が保たれる様に維持管理等については地域と連携して進めてほしい。
- ④ 最近では川遊びをしている子供を見る事が少なくなりました。川遊びのできる川原があればいいと思います。



<東北地方整備局の考え方>

- ・ ①現在の生態系に与える影響に配慮し、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の創出・復元・保全に努め、河道掘削等の工事にあたっては、トミヨ属雄物型等の生息する①湧水が見られる細流やワンド・たまり、瀬・淵等に配慮して、平水位以上の陸上掘削を基本とし、重要種が生息する環境に配慮します。ならびに、重要種の生息・生育・繁殖環境に配慮しできるだけ影響の回避、低減に努め、必要に応じて代償措置等を行います。【素案P112】
- ・ 河川環境情報図や現地調査で河川環境を把握し、①河川環境に与える影響が大きいと予想される場合は、学識者等の意見や地域住民の意向を聴きながら、事業箇所の環境や特徴に応じた対応に努めます。【素案P112】
- ・ 今後も水質の状況を監視及び把握するために、定期的な水質調査を継続的に実施するとともに、②観測結果の情報提供や共有化により、良好な水質の維持に努めます。また、②水質汚濁対策連絡協議会をはじめ、県・市町村等の関係機関及び流域住民と連携、協力して、水質の保全に努めるとともに、地域住民や子供たちを対象とした水生生物調査や出前講座等を通じての啓発活動を実施し、流域住民とともに雄物川の水質保全や改善に取り組めます。【素案P115】
- ・ 地域の自然、歴史、文化等の地域固有の特性と密接に関連する良好な景観を有する区域に対して③河川整備等を行う場合は、県、市町村、NPO法人、地元住民等の意見を踏まえ、地域と連携して周囲と調和した景観に配慮し河川空間の保全・形成に努めます。【素案P116】
- ・ 雄物川の河川空間の整備にあたっては、必要に応じ空間整備、拠点整備を実施します。
④かわまちづくり等の整備の実施にあたっては、地域からの要望に配慮し、市町村と連携しながら、自然とのふれあい、環境学習ができる場の維持・保全を図ります。【素案P118】

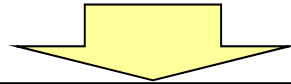
雄物川水系河川整備計画【素案】に対する主な意見と東北地方整備局の考え方

5.維持管理

素案に対する主な意見

- ① 河川への土砂堆積、樹木がかなり繁茂してきているように見える。
- ② 大きな事故が起きる可能性もあるので、防止のための整備もお願いしたい。
- ③ 河川区域での氾濫が度々あります ダムの放流は適切に行ってください。

<東北地方整備局の考え方>



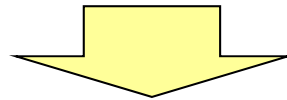
- ・ 河川管理を適切に実施するためには、河川の状態を適切に把握することが必要となります。このため、①定期的な水文・水質調査、河道の縦横断測量、環境調査及び河川巡視等を継続的に実施します。【素案P121】
- ・ 河道の変動、河岸の侵食、護岸、根固工等の変状を早期に把握し、①機動的かつ効率的に補修等を実施します。【素案P130】
- ・ 出水により運搬される土砂は、低水路、樋門・樋管等に堆積する場合があります。これらを放置すれば、流下能力不足を招き、施設機能に支障を及ぼすこととなるため、①適正な河道断面を確保し、河川管理施設が常に機能を発揮できるよう河道堆積土砂の撤去を実施します。
また、土砂堆積による中州の陸地化や樹林化を抑制するため、砂州の表層土砂を撤去する等の手法により、水域と陸域環境の遷移帯を設け、河岸侵食の防止と豊かな河川環境の保全・復元に努めます。【素案P130】
- ・ ①河道内の樹木の生長や繁茂の状況を定期的に調査し、治水、環境の両面から適切に評価し、必要に応じて伐開等の樹木管理を実施します。【素案P130】
- ・ ②これまでに整備された施設を適切に管理・運用するとともに、定期的な安全点検を実施します。点検により危険箇所が明らかになった場合は必要に応じた対策を講じます。【素案P132】
- ・ ダム、樋門・樋管等の河川管理施設は、③水位、流量、雨量等を的確に把握し、操作規則等に従い、下流の河川改修の整備状況等にも配慮し適正な操作を行います。【素案P139】

雄物川水系河川整備計画【素案】に対する意見と東北地方整備局の考え方

5.維持管理

素案に対する意見

- ① 河口からの距離が、でたらめでジョギングやウォーキングの距離測定には信用できず、かえって迷惑です。いったいどのようにして標識を立てたのでしょうか。
- ② 一級河川の管理は県ではなく国が担うべき。



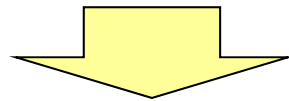
<東北地方整備局の考え方>

- ・ ①河川の距離標は河川を管理する目的(河川の巡視等での位置特定や河道断面の変化の把握等)で、流水が生じている部分の中心に沿って縦断的に概ね200m毎に設置されています。実際の河川は蛇行しており、流水の中心と左右岸では距離が異なることから、①堤防上の距離とは必ずしも一致しないことをご理解願います。
- ・ ②一級河川の管理は、法令に基づいて実施しており、今回の整備計画案の対象となっているのは大臣管理区間です。整備計画案に基づく河川の整備・管理については、従来と同様に知事管理区間との連携、調整をしつつ進めていきます。

雄物川水系河川整備計画【素案】に対する主な意見と東北地方整備局の考え方

6.危機管理体制の整備・強化 素案に対する主な意見

- ① ダムの放流時に、ダムの放流警報の連絡がないので、連絡がほしい。
- ② 災害発生時の素早い情報伝達のため避難勧告、指示の判断基準の明確化。機能する体制にあるのか。危険水位の監視と避難勧告発令のタイミングの徹底。定点監視カメラによる監視と迅速的確な判断。行政とのホットラインの確保、いつでもつながる体制か。



<東北地方整備局の考え方>

- ・ ②災害発生時においても被害が最小限となるよう、国、県・市町村等の関係機関における相互の情報共有や支援体制の構築を図ります。【素案P137】
- ・ 雄物川、玉川、皆瀬川、横手川、丸子川は、「洪水予報河川」に指定されており、洪水時には洪水予測システムにより水位予測を行い、气象台と共同で洪水予報を発表するとともに、洪水予報支援システムにより②関係機関に対して洪水予報、水防警報を迅速かつ確実に伝達することにより、円滑な水防活動の支援や避難の勧告又は指示の判断に資するよう、法令等に基づき、関係市町村の長に情報提供を行い、洪水災害の未然防止と軽減を図ります。また、災害時や災害が発生する恐れがある場合に②迅速かつ確実な情報連絡が行えるよう、定期的な防災訓練を行います。【素案P137】
- ・ ダムからの放流を行う場合には、①サイレンや拡声器等による警報を流すとともに、警報車による巡視を行い、拡声器等で河川利用者に警報を伝え、避難の状況や警報局の状況、河道の状況等の確認を行います。【素案P139】
- ・ ②収集した情報については関係機関と共有化を図るとともに、地域住民に対しては迅速でわかりやすい情報提供に努めます。【素案P143】

【素案関連頁】：雄物川水系河川整備計画(素案)平成26年7月版

洪水予報及び水防警報等 137頁

河川管理施設の操作等 139頁

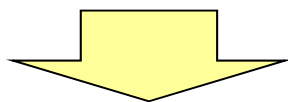
河川情報の収集、提供 143頁

雄物川水系河川整備計画【素案】に対する主な意見と東北地方整備局の考え方

7.河川整備計画全般

素案に対する主な意見

- ① 地球温暖化等に伴う、自然環境の変化により、想像を絶する豪雨災害等に対して、地域住民の生命と財産を守るためにも、河川整備は必要と思いますので、基本理念に則り、計画を進めていただきたい。
- ② 委員の選定原則(公開・住民参加)が正しく行われなかった。議事録は公開の原則からほど遠いものである。



<東北地方整備局の考え方>

- ・ ①雄物川流域の自然、社会、歴史、文化を踏まえ、安全・安心が持続でき、豊かな自然を次世代へ受け継ぎ、さらには流域の人と自然と社会が調和した活力ある地域を創造する雄物川の整備を目指します。【素案P1】
- ・ 雄物川水系河川整備基本方針の達成に向け、治水、利水、環境に関する必要な施設対策及びソフト対策に関する調査を継続します。また、①地球温暖化による影響予測を踏まえた適応策、計画の想定を超過する外力が発生した場合の対応策、さらに、①水系一貫とした河川管理を目指し、健全な水循環系、流砂系、森・川・海のつながりの構築に向けた検討を関係機関と連携して進めます。【素案P147】
- ・ 整備計画の委員の委嘱につきましては、②河川の整備を行うにあたって必要な各分野の専門性が高い学識者の方々を、過去の実績や経験等を総合的に勘案して東北地方整備局長が委嘱しています。
懇談会の審議につきましては、②懇談会及び資料を公開するなど情報公開を行うとともに、主要な段階でパブリックコメントを行い意見の募集や地域の方々の意見を聴いています。
懇談会、パブリックコメントによる意見募集や意見を聴く会の実施について、②事前に報道機関に記者発表するとともに、秋田・湯沢河川国道事務所、玉川ダム管理所のホームページで公表しています。
- ・ 懇談会議事録については、第6回学識者懇談会から公開(予定)していきます。

【素案関連頁】: 雄物川水系河川整備計画(素案)平成26年7月版
計画の主旨 1頁

長期的な視点をもった調査・検討 147頁

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	素案関連頁
1	河川整備の実施	投函	洪水が起きてからでは遅いので、流域全体で未然の防止をするよう、堤防、掘削、ダムを早期に進めてほしいと思います。	P86
2	河川整備の実施	意聴 (東成瀬村)	東成瀬村内には、4箇所ほど洪水被害の常襲地帯があり、上流でも上流なりの災害があり、洪水時には、道路が通行止めとなり、須川方面に行く道路が寸断され、1箇所迂回路はあるが普通車がやっと、大型車は通れないため孤立化する。災害は必ず来るので、対策をして欲しい。	P86
3	河川整備の実施	投函	京塚地区の無堤防について当地区には危険な場所が有りそこに何軒かが建っています 数年前から築堤をお願いしてきました。今回の兵庫県の佐用町のような災害が起きてからでは遅いので早期に築堤をお願いします。	P86
4	河川整備の実施	投函	柳田橋下流左岸京塚集落は、昭和22年被災以来ここにちまで放置されている。京塚集落に堤防をつくって下さい。京塚より下流の羽後町鶴の巣では立派な堤防が完成しておりました。	P86
5	河川整備の実施	投函	近年の洪水被害の後、河川整備が進められ、雄物川中流部の洪水常襲地区、強首輪中堤の完成。小種福部羅地区の家屋移転と10KMに亘る築堤の突貫工事現場を見、量的整備は着実に実施されているのを実感しています。関係各位のご努力に敬意を表します。雄物川圏域の堤防整備率は56%と治水安全度は未だ低く、平成16年以降の全国各地の集中豪雨被害を受けて、市街地、農地でも同じように堤防を作ってきた整備手法を改め、市街地優先の治水を行う等、河川法改正がされました。特に中、上流の流域にかかわらず危険箇所の対策を急ぐとしています。雄物川河川整備計画素案にもあるように、湯沢市の京塚から倉内に至る地区は県営・市営住宅及び住宅分譲地、老人介護施設等災害弱者約700名の人口密集地です。昭和22年洪水被害以来の無堤及び暫定堤防地区で一日150mm以上の集中豪雨でも決壊や越水による被害が想定され住民の安全面に大きな不安があります。京塚・新田地区の築堤及び倉内地区の暫定堤防嵩上げについて早急に予算化工事着手のほど要望いたします。	P86
6	河川整備の実施	意聴 (横手市)	堤防の築堤される前、昭和22年洪水で濁流が流れ、農地・家屋等、甚大な被害が出た。直轄の築堤ができてからは被害はなくなったため、無堤の鳥屋場地区に早く堤防が欲しい。	P86
7	河川整備の実施	意聴 (横手市)	今回30年の計画に鳥屋場地区の堤防計画が盛り込まれたことは地域にとってうれしいことだ。旧雄物川町時代から、国交省に早期築堤を何年も継続し陳情してきたことから、地区にとって悲願だった堤防が素案に盛り込まれたことは、非常にうれしい。早期に実現してほしい。現在、横手市でも、安全安心の考えを取り組んでいることから、是非お願いしたいのが、堤防がない地区の旧雄物川町、大雄村、大森町の中学校が1つに統合する市計画がほぼ決まっているが、計画地には堤防がないため、大きな自然災害があった場合、大きな不安要素があるため、無堤解消に前向きに取り組んでもらいたい。	P86
8	河川整備の実施	投函	雄物川町鳥屋場地区への築堤について、ぜひ堤防をつなぐようお願いします。	P86
9	河川整備の実施	投函	鳥屋場地区の堤防整備について、堤防は付近住民が切望していることなので1年でも早く実施されることをお願いします。	P86
10	河川整備の実施	投函	地元に住む者としてやはり鳥屋場の築堤を早急に望みます。	P86
11	河川整備の実施	投函	横手市館合鳥屋場地区（無堤地区）の堤防整備を早急に行ってください	P86
12	河川整備の実施	投函	横手市雄物川町館合鳥屋場地区の堤防を整備して下さい	P86
13	河川整備の実施	投函	鳥屋場地区の築堤の実現をお願いします	P86
14	河川整備の実施	意聴 (大仙市)	農業をやって50数年になるが、2～3年の間隔で水害を受けている。平成になってからも12回くらい水稲が冠水し被害を受けている。近年の農業もやりにくい環境になっており、水害を受けなくても機械の償却を考えると赤字、それに水害だと元も子もなく、やる気がなくなる。こういったことがあるという現状を知っていただきたい。午前中に西仙北におじゃまして聞いたところ、今年の冠水面積は120haの面積が被害を受けたとのことで、大変な被害である。春から手入れて大変な被害を受けると、大変ショックであるため、中流の築堤を1日でも早くお願いしたい。	P86
15	河川整備の実施	意聴 (大仙市)	ほ場整備が控えているので、寺館の堤防を早期に完成してもらいたい。	P86

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※[意見聴取経路]:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール:Eメール」

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	素案関連頁
16	河川整備の実施	投函	協和峰吉川地域の堤防について（お願い）この地域の堤防工事を急いで下さい。今年も馬鈴薯の収穫は出来ませんでした。又、いつ頃工事に着工出来るか、住民に周知して欲しい。皆、不安で、不満に思っています。河川整備学識者懇談会も大切でしょうが沿岸住民の意見も聞いて欲しい。	P86
17	河川整備の実施	投函	大仙市刈和野橋上・下流では、たびたび洪水にあい、農業被害等が発生しているため、早期の堤防整備をお願いしたい。	P86
18	河川整備の実施	投函	雄物川築堤工事の進捗と早期実現により被害の解消。	P86
19	河川整備の実施	意聴 (秋田市雄和)	S22以後いろんな大きい洪水を経験している。ダムができて下流の増水が少なくなったが、まだこの地区は冠水が多い。今年の7月末の洪水でも大正寺地区、高尾山の下、女米木地区、左手子地区で冠水した。少ない雨量でもつかるといことをマップにのせるとか、そういった地区であることを認識していただき、早期・優先的な堤防整備をお願いしたい。	P86
20	河川整備の実施	意聴 (秋田市雄和)	1年1回は浸水被害がある。幹線道路である国道341号の重要な道路の冠水もあり困っている。30年長期計画ということだが、工事に入る順番は、浸水被害があるところを優先してほしい。	P86
21	河川整備の実施	投函	大仙市小種まで堤防が出来てきましたので、豪雨が降ると新波地域が一番早く冠水しますので、早期堤防を実現して下さいお願い致します。	P86
22	河川整備の実施	意聴 (秋田市雄和)	上大部の上流側で残っている妙法地区の築堤をお願いしたい。	P86
23	河川整備の実施	意聴 (大仙市)	間倉築堤について、残りの500mの整備をお願いしたい。	P86
24	河川整備の実施	投函	自転車で大規模自転車道・河川公園・堤防道路を走っています。リラックスできる空間だと感謝しております。今後の治水対策としての堤防整備（自転車道整備含む）も、是非早急をお願いしたいです。	P86
25	河川整備の実施	意聴 (秋田市雄和)	強首輪中堤地区の治水対策を進めて欲しい。	P86
26	河川整備の実施	投函	横手市大雄字野崎と大仙市角間川町字木内間の場防は、現在、暫定型と聞いております。この間にある支川の油川に雄物川が洪水の場合逆流させて、この地区の田を遊水池として機能させると伺っているが、本当でしょうか？河川整備計画ではどのように計画されているのか伺いたい。	P86
27	河川整備の実施	意聴 (横手市)	1級河川内に固定の堰堤があることは、バックがかかり水位上昇につながる。皆瀬頭首工は、稼働式のすばらしい頭首工に改築された。洪水流の流下阻害となる固定堰を改築してほしい。	P86
28	河川整備の実施	意聴 (湯沢市)	四堰改築の要望に対し、大久保堰は完成、現在は湯沢統合堰を改築中。パンフレットには山田堰改築の計画が載っているが、既設の堰は老朽化が激しい。「利水」及び「治水」の面でゲートが動かないことは大変問題であり、専門業者に依頼して点検はしているが、30年の計画の中でも早めの着工をお願いしたい。	P86
29	河川整備の実施	意聴 (横手市)	新雄物川橋上流、約2～300mの右岸の高水敷は、水害が発生しやすく、農地が水に浸かりやすい。川幅が狭いことが原因であり、河道掘削をしてほしい。	P86
30	河川整備の実施	意聴 (横手市)	新雄物川橋上流部は、雄物川で川幅が一番狭いと言われており、洪水があると道地地区の水田すれすれになる。川幅を広げる計画が無いようだが、強く要望する。	P86

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※[意見聴取経路]:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール:Eメール」

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	素案関連頁
31	河川整備の実施	意聴 (秋田市雄和)	新波川の氾濫は、今年の7月の洪水程度でも土壌を準備するほど、切実である。S22洪水が恐怖と記憶している。今S22洪水が起きたら、整備計画30年間でどのようなになるのか。早期に治水対策を進めてほしい。	P86
32	河川整備の実施	意聴 (秋田市雄和)	今進められている堤防の進み具合を教えてください。繋地区は低地にある関係でいつも水があがる。工事の状況を見ると、一番水があがるところが後まわし、つかからないところが先、という風に見える。今後の工事の順番をおしえてほしい。	P86
33	河川整備の実施	意聴 (横手市)	平成19年9月洪水で本川のバックで石持川の流れが悪くなり、32戸の床下浸水が有り、町営住宅の直前まで水が来たことから、石持川を山城堰より下流に放流できないか要望する。	P86
34	河川整備の実施	投函	堤防をつなぐことにより石持川の水を何処に流すかが大きな問題になります。山城堰が固定堰であるため、石持川の流水を阻害している事は多くの人たちが認識しております。市内の湛水被害解消のため、この機会に築堤と同時に、石持川を山城堰の下流へ放流する対策を切に願います。	P86
35	河川整備の実施	投函	堤防を作る場所には、かなりの排水面積をかかえた石持川が合流しており強制的にポンプで排水するか、山城頭首工の下流で自然に流入できる場所まで石持川を延ばさないと、この沿川の湛水被害はなくならないので、この堤防整備と一体的な工事の実施を、ぜひお願いします。	P86
36	河川整備の実施	投函	石持川排水路を山城頭首工の下流部に直接流れるように一考願えれば幸いです。よろしくお願い致します。	P86
37	河川整備の実施	投函	沼館地区の内水氾濫を防ぐためにも、石持川の放流口を山城頭首工より下流に放流するようにお願いします。沼館地区の洪水防止のため、迂回路(1,340m)施行しましたが、石持川へ放流する事に変わりません。降雨量が多いと再び水害の恐れがあります。	P86
38	河川整備の実施	意聴 (秋田市雄和)	雄物川が増水すると新波川の氾濫が必ず発生する。新波川の改修も行政間で連携してほしい。	P86
39	河川整備の実施	投函	私の家は●●の一番土地のひくい所にあつて、●●樋門の直横にあります。この樋門の水路は高さは2Mで雄物川の水位がその2Mになるととじられて、その後はポンプを持って来て水を流すそうです。これでは大変、不安です。内水対策だそうですが河道掘削や木を切つて、ぜひ内水はらんがおきないよう、お願いします。	P86
40	河川整備の実施	意聴 (秋田市西部)	確率が椿川を境に上流1/100、下流1/150となっている。下流は完成しているように見えるが整備は必要なのか。	P86
41	河川整備の実施	投函	河川区域内の民有地を解消すべきである 特に民地上の堤防は論外である しかも税金まで払わされている	P86
42	河川整備の実施	投函	雄物川町沼館地内水害を防止する等、石持川の雄物川への放流口を現在の山城頭首工より下流に放流するようにお願いします。沼館地区の水害防止する等、市街地の水路の改修は横手市で行い、迂回路は県の圃場整備サイド(1340m)施行しましたが、石持川に放流する事には変わりません。本流が多くなるとバックがかかり石持川の放流ができなくなります。再び水害の恐れがあります。農水省サイドでの国営排水事業が計画されておりますが、国交省とよく協議をして下さい	P86, P147
43	ダム建設	意聴 (東成瀬村)	田んぼを作っているが、昔から洪水に悩まされている。5年に1度の浸水を何十年も経験してきたため、堤防が出来たときは安心していましたが、10数年前の洪水で、国道とほぼ平坦な田んぼに、水が堤防を越えて国道まで来た。朝6時頃の雨が一番激しく、みるみる水位が上昇し、国道が30cmほど冠水し、軽トラックも走れない状態だったため、田んぼが心配で見に行きたかったが、周りから危ないため行くと言われた。その洪水で、はさがけが流された。そのときつくづく感じた。100年の災害に備える。150年の災害に備える。いつどの程度の災害が来るか分からないし、最近ではゲリラ雨による洪水での被害も発生しているため、ダムでの洪水調節を期待している。	P107
44	ダム建設	投函	雄物川町にある河川公園は規模も大きく、市内外から多くの利用者がいます。しかし、集中豪雨(ゲリラ豪雨)で、度々川の水が上がり、規模が大きいくだけに復旧作業に大変難儀しています。洪水対策のためにもダムの整備を要望します。	P107
45	ダム建設	投函	私は、皆瀬川流域の下流に住んでおり、農業も営んでおりますが、以前皆瀬川の濁水により稲作に多大な被害があったり、洪水も何回も経験しております。また、先ごろの中国地方の集中豪雨で多数の死者が出るなど、近年の異常気象による災害を懸念しております。その様な中、成瀬ダム建設の計画を聞き、利水や治水に役立つことから是非建設をお願いしたいと思います。反対の意見の方は、災害や濁水の時の被害のことを考えてのことなのでしょうか。もし、ダム建設が中止になり災害等の被害が起きたときは人災になるのではないのでしょうか。責任を取ってくれるのでしょうか。●●●●が反対している新聞を見てびっくりです。一番悲しい思いをする建設場所の東成瀬村の住民の方々は、下流の住民の方々のことを考え賛成しているのに・・・	P107

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※【意見聴取経路】:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール:Eメール」

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	素案関連頁
46	ダム建設	投函	多くの市民は、川の恵みを受けていることを忘れており、ひとたび発生したら悲惨な状況になる河川災害（洪水・渇水等）のことを忘れており、水利調節が可能となり、水道水源も確保できる成瀬ダムの建設は必要と考える。コントロールする水量、事業費負担については解りやすく説明していくべきです。	P107
47	ダム建設	投函	治水・利水・環境の3点を総合的に行う計画であり、早く事業化して下さい。特に成瀬ダムは、治水だけでなく、水田の用水確保にも必要です。地域のために、上手に水を治めて下さい。	P107
48	ダム建設	投函	水は資源です。有効に使用するためには、ダムを作り、洪水調整だけでなく、飲料用、農業利水、工業用水、発電用と多目的に整備されることが望まれます。	P107
49	ダム建設	投函	洪水被害の軽減、安定した農業用水と生活用水の確保の観点から、成瀬ダムの建設を推進してほしい。	P107
50	ダム建設	意聴 (東成瀬村)	農業やってる会社員は、昔と違って、田んぼ仕事だからといって会社を休むのは難しい。表面的には水は間に合っているように見えるが、会社が休みの休日には、水利用が集中し、水が不足している。早期にダムを完成させ、正常な機能を早く発揮させて欲しい。	P107
51	ダム建設	投函	冬にあまり雪が降らない年もあるため、ダムは必要だと思います。横手市は農業が主力産業なので、水不足にならないよう、早期にダムの建設をお願いします。	P107
52	ダム建設	投函	農家として、農業用水確保の為、成瀬ダムは必要です。早期完成を望んでいます。	P107
53	ダム建設	投函	かんがい期には、末端まで必要な量の水が届かない場合があります。用水の安定供給のためには、成瀬ダムの早期完成が必要です。成瀬ダムの早期完成を願っています。	P107
54	ダム建設	投函	ダムは水の貯金（水）箱だと思います。普段は水があることが当たり前だと思っても、渇水時は、ダムがあって計画的な放流をしてもらえば、不安が解消されるのではと考えます。地球温暖化の影響で、世界中で集中豪雨や、異状渇水が、発生している昨今、安定して水を供給してくれる大切な施設ですので 成瀬ダムには、非常に期待しております。	P107
55	ダム建設	投函	治水だけでなく、利水でも成瀬ダムは必要だと思います。早く完成することを願います。	P107
56	ダム建設	投函	渇水流量も年によって大きく開きがあり渇水による被害も多い為、成瀬ダムの早期完成が必要である。	P107
57	ダム建設	投函	私の住む雄物川町は雄物川水系の下流域で、農業用水は、毎年水不足で頭を悩ませています。また、洪水時の水害も多く、治水も兼ねて、早期の成瀬ダムの完成を要望します。	P107
58	ダム建設	投函	温暖化による少雪傾向が続いており、水資源の確保がこの地域でも心配されます。基幹産業である農業を守るためにも、ぜひ、かんがい用にダム整備を要望します。	P107
59	ダム建設	投函	成瀬ダムの早期建設を、玉川ダムができてから秋田市では、洪水や渇水の被害が少なくなったと思います。成瀬ダムを建設中ですが、早期の完成を希望します。	P107
60	ダム建設	投函	地下水に頼らない安定的な水道水の供給のためにも、成瀬ダムを早く造ってほしい	P107

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※[意見聴取経路]:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール: Eメール」

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	素案関連頁
61	ダム建設	投函	横手市雄物川町谷地新田には上水道が整備されていません。水源の確保のためにも成瀬ダムが必要です	P107
62	ダム建設	投函	平鹿地域は、生活用水のほとんどを「地下水」に依存しています。枯渇や水質汚染が懸念され、安全な水の確保が大切だと思っています。成瀬ダムは、水道用水の確保に欠かせない施設だと思いますので、早期の完成を望みます。	P107
63	ダム建設	投函	将来にわたり、良質な水を供給するには、ダム建設が必要と思います。景観に、これまで以上に配慮しつつ、早期完成を願います。	P107
64	ダム建設	投函	日本は国土が狭く少ないので水資源を有効に利用し発電出来るダムは必要だと思います。	P107
65	ダム建設	投函	成瀬ダムは、止めて下さい。だれも困っていないのに巨額の金を投資して、自然を破壊する意味はありません。もうダムの時代は終わったのです。	P107
66	ダム建設	投函	成瀬川ダムの工事が進んでおりますがダムは川を汚します。是非工事はストップして下さい。	P107
67	ダム建設	投函	もうそろそろダムに依存するのはやめるべきです。	P107
68	ダム建設	投函	豊かで多様な自然環境を次世代へ継承するためには、成瀬ダムは不要です。	本資料P6
69	ダム建設	投函	ダム・道路建設されて国家財政・社会保障減ぶでは困ると思います。確かに、気候の異変による集中豪雨が感じられますが、温暖化の防止が対策です。したがって、成瀬ダムは中止すべきです。	P107
70	ダム建設	意聴 (湯沢市)	素案14ページの主な洪水を見ると、樺川で頻繁に洪水が起こっているが、近年の洪水は小さくなってきていると思うので、整備計画の6,800m ³ /sに比べピーク流量は小さくなっている。昭和22年のカスリン時は、山の状態・堤防の状態が現在と違い、労働力・お金が無いことから、大きな被害になったと考える。成瀬ダム事業費1,560億円は、堤防に使った方が良いのでは。成瀬ダムは、山の最奥地に作られるため効果が無いのでは。財政的にも良いのでは。	P107
71	ダム建設	意聴 (東成瀬村)	刈和野地区の洪水は、「堤防嵩上げ」又は「新しい堤防」で解消できると思うが、成瀬の山奥にダムを作ってその効果が届くのか。山地の美しい自然が壊されることもあり疑問である。	P107
72	ダム建設	投函	50年～100年に一度の洪水はダムなどでなく、遊水池などを作って自然にまかせた方が、経費的にもよいと思うのですが。	P107
73	ダム建設	投函	渓流釣りを楽しむ者です。北俣沢をフィールドにして年間20回ほど入渓します。あの豊かな北俣をダムの底に沈める権利が誰にあるのですか。基本理念にあるように、次世代へ継承すべき自然ではないですか？	P107
74	ダム建設	意聴 (湯沢市)	現在、皆瀬川の近くに住んでいるが、環境面では、現在でも皆瀬ダムにより汚れた水が流れており、新しく作る成瀬ダムについては、「汚れが少ない」とは言っているが心配である。	P107
75	ダム建設	意聴 (東成瀬村)	岩見三内の場所を洪水の後に行き、土砂が田んぼを埋め尽くす散々たる光景を目の当たりにした。拡大造林時に不適な樹種を植林したため、木の無い裸地が20%ほどある。林業で欲しい道は、チェーンソーを持って歩ける簡単な道で良いのに、鉄砲水が発生しやすい行為をやっている。成瀬ダムの工事でも林道をつけているため、配慮が必要である。森が荒れないよう注意してほしい。今日はダムのことについてはとやかく言わない。	P107

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※[意見聴取経路]:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール:Eメール」

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	素案関連頁
76	ダム建設	投函	東成瀬村に1530億円のお金でダムを造るそうですが、今、私達の周囲は派遣切りになったり、介護施設の順番待ちの人が沢山いたり、立派な建物だがお医者さんが足りなかったり、直接私達の生活にかかわる解決しなければならない問題が山程あります。まず身近な問題にとりくんでからダムに着手しても良いのではないのでしょうか。	P107
77	ダム建設	投函	全国的には脱ダムの流れがあるように思いますが秋田県はまだその方向にないと思います。	P107
78	ダム建設	投函	民主党政権になれば岐阜県のダムは中止すると言っている。成瀬ダムは大丈夫なのか心配である。反対もあるし	P107
79	ダム建設	投函	三十数年前水道が枯れてポリタンクの水を飲んだ記憶があります。熱い日が続き大変だったのを思い出しました。ダム反対の人は、水枯れの時にどうするのか聞きたい。	P107
80	ダム建設	投函	私は幼い頃から川で小魚をとりせきでどじょうを採って現在も食べております。しかし魚の豊かな皆瀬川はダムができてから年々魚がまずくなり、鮎は育ちませんし、まずくなってしまうました。鯉も同様です。成瀬川も皆瀬川のようになってしまいかと思うと、がまんできません。永い間私の様に川の恵みを受けて人間は暮らしてきたのではないのでしょうか。清らかな水は生命の水です。人間の生存をおびやかしてはいけません。私の父が開こんだ田んぼは、大水が出ると遊水池になる所です、がもしダムをつくる目的に治水をかけたなら遊水池であることは認められません。	P107
81	ダム建設	意聴 (東成瀬村)	先日の雨で洪水警報が出たとき、ダムの必要性を感じた。資料を拝見すると、役内川にダム計画がないが、洪水を考えるとダムが必要だと思う。	P107
82	ダム建設	意聴 (東成瀬村)	八木頭首工からの1.5トンの取水も、約3割減反となっている現状で、水を使う田んぼの代かき期に間に合っている。現在、水道水は湧き水を利用してはいるが、地下水から上水に変わること、まづい水になるのではと心配している。	P107
83	ダム建設	意聴 (湯沢市)	前に、湯沢市の広報で成瀬ダムに関する特集があり、5つの機能として「洪水を防ぐ」「維持用水を補給する」「かんがい用水を補給する」「水道」「発電」と記載されていました。その中の農業用水における成瀬ダム計画について、秋田県が27年前の1983年、に着手し、その後、国に移管していますが、国の農業生産調整が1970年にあり、その後13年目に着手、それから27年間経っており、現在では減反も進み農業用水を必要とする面積が、昔の面積で計画されているのであれば農業用水量は過大ではと考える。	P107
84	ダム建設	意聴 (湯沢市)	湯沢市の水道ビジョンでは、「工業水量」「家庭水量」は減少し、内部での経費節減を図ってきたが、今後は、値上げを考えた料金改定を視野においた見直しが必要としており、これ以上、湯沢市では水はいらないと言っている。	P107
85	ダム建設	意聴 (湯沢市)	去年の6月14日に大きな地震があり、荒砥沢ダム周辺でも被害を受けており、また、周辺の山の地すべり地帯では、くっきりと地すべり後が確認できる。成瀬ダムの予定地も地すべり地帯で、土砂堆積の対策が必要な上、ダムの地盤として不安定である。地震後に、ダム計画は見直しされたのか。ロックフィルの山を作るとなると、材料採取により、別なところで大きな穴ができ、それが原因で大きな被害が発生するのではないかと。	P107
86	ダム建設	投函	私は成瀬ダム(予定地)の下流の住民です。何回か予定地を見に行っていますが、春先などはげの崩落が見られます。四川省(中国)地震の被害が大きくなった要因の一つにダムがあるといわれています。昨年の岩手・宮城県地震を見ても、今度地震があったら、ダムが出来て大丈夫か心配です。	本資料P6
87	ダム建設	投函	秋田県内にダムがけっこう造られてきましたが地域振興のために造ったダムはあるのでしょうか。あったら教えて下さい。もし、地域振興のために造るのであれば全部の市町村にこれから造るのですか？	P119
88	ダム建設	メール	河川を整備するにあたって、この土地の文化、これからあるべき秋田の未来を考えると、自然という資源はなるべく破壊しないかたちで河川を整備すべきだと思う。雄物川水系で今現在物議を醸しているのは「成瀬ダム」だと思う。ダムを造ってしまうと、源流部の生物から、海の生物にいたるまで、水質悪化による生物の減少は避けられないと思う。川にまつわる、文化、また、漁業が影響をうけてしまい、自然を資源とする魅力ある地域づくりというのは難しいものとなるであろう。秋田において守るべきものは自然という資源であり、それにまつわる文化である。ダムの治水に関しては「ただし書き操作」の可能性を考えると、結局は堤防、堰堤等のダム以外のものにもかなり金をかける必要が出てくるのではないかと。ダム+堤防+堰堤。金がかかり過ぎる。水位調節能力や「ただし書き操作」の事を考えると、ダムの治水機能というのはあまり意味がないのではないかと。ダムはいらぬのでは、という気がする。また河川の適切な流量維持という点では、濁水になるからダムを造る、のではなく、その前に自然を破壊しない形で流量維持をするべきだと思う。国交省は否定的な見解を示しているようだが、逆に有効だという意見もある「緑のダム」については再検討する必要があると思う。	本資料P6
89	ダム建設	投函	森林は緑のダム、日本最大の社会資本です。森林の維持・管理にお金をかけるべきです。	本資料P6
90	利水	意聴 (羽後町)	大王製紙が来なくなったため、余った玉川ダムの水を有効活用してほしい。	P110, P111

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※[意見聴取経路]:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール:Eメール」

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	素案関連頁
91	利水	投函	安定した農業用水、生活用水を確保するため河川の整備計画が必要である。	P110, P111
92	利水	投函	西仙北の刈和野と大沢郷の水道は雄物川の伏流水を水源としており、雄物川の流量により取水が制限されているようだが、夏場の暑い時期に最も必要とされる水道水が不足するのは住民の生活に支障をきたすこととなるので取水制限をなくした方が良いと思う。	P110, P111
93	利水	投函	通年を含めて安定した河川等への水量が確保される計画にしてほしい	P110, P111
94	利水	意聴 (東成瀬村)	土地改良事業によって地下水が下がった。農地開発により排水が良くなり、水が早く下流に流れるため、伏流水がどんどん減った。農業開発は伏流水を遮断している。ショウブ沼の埋め立てなど、平地に溜まっていた水が工事によって破壊され、国交省にも言ったが、伏流水はどこから誰の管理になるのか等、調整しないと無駄になるのではと思っている。	P110, P111
95	環境	意聴 (東成瀬村)	整備計画の中身については一部歓迎する。最近の河川の工事は農業水路においても、直角型のU字水路で施工されている。親水性のある河川の工事をお願いしたい。	P112
96	環境	投函	護岸工事にコンクリート壁をもうけるのは、景観、自然環境、安全などの面からよくない。水草、樹木、自然石、その他を活用すべきです。	P112
97	環境	投函	自然環境を守る整備をしてほしい。	P112
98	環境	投函	水害をなくす為の河川改修により被害もなくなり大変喜ばしいことなのですが、川底がむき出しの岩盤により石が全くない所もあります。魚にとってはとても住みにくい状態になっているのではないのでしょうか。沢などにも蛇カゴを置くのは良いのですが下を水が通って魚が上れない所も見受けられます。工事の際にはなるべく川底やもとの地形をそのまま残してもらいたい。とてもむずかしい事ですが、良い環境を作ってください。	P112
99	環境	意聴 (大仙市)	漁協組合の1人だが、河川工事の場所で清水が湧いている場合もあり、また、外来種も入ってきているため、在来種がほとんど取れなくなっている。清水が湧く場所は保全してもらいたい。	P112
100	環境	投函	魚がそ上出来ますよう是非魚道の設置をお願いします。	P112
101	環境	意聴 (大仙市)	オオクチバスの駆除を三角沼でやっているが、雄物川全体での対策を実施してほしい。	P112
102	環境	意聴 (大仙市)	ハリエンジュは外来種と言うことで伐採することとしているが、山にもたくさんのハリエンジュがあり増えてきているので、対策を考えてほしい。	P112
103	環境	投函	皆瀬川（特に稲川地区）の水質が依然として改善されていません。治水だけでなく、水質改善のための工夫をお願いしたい。	P115
104	環境	投函	雄物川水系の整備は完璧に近く、水害の心配は全く無くなり日頃心から感謝している。未完の整備については年次計画に添い肅々と進めるべきだ。今秋田市では雄物川を水道源としているが、一方農家は多量の農薬や化学肥料を田んぼに使用、結局は雄物川に流れ我々の生活を脅かしている。癌の増加はこれらに起因するとする学者も居る。世界一の浄化技術を誇る日本だが人間に有害な農薬や化学肥料については完全な除去は難しいとされる。縦割行政はやめ、農水省とも話し合いの上早急に水質浄化に取り組んで欲しい。孫・子らの為に切望する	P115
105	環境	投函	景観の保全について良好な景観が保たれる様に維持管理等については地域と連携して進めてほしい。	P116

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※[意見聴取経路]:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール: Eメール」

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	素案関連頁
106	環境	意聴 (湯沢市)	桜堤防の拡築は川前に腹付けのため、川前の桜の木を伐採する計画と聞いている。生命財産を守るために桜の伐採は仕方ないと考えているが、遮水シート等により浸透を防ぐことで桜の木を残すなどして、景観に配慮してほしい。	P116
107	環境	意聴 (東成瀬村)	自然に触れる機会が無いためか、最近、殺傷事件も多発していることから、自然の癒しが大切だと思う。	P116
108	環境	投函	人と自然が調和する方法は、人間の安心・安全を求めすぎではいけない。昔の川は良かった。人と水が近かった。積極的な河川整備は、もうやめにしませんか。人と川を近づけるようにしてもらいたい。	P118
109	環境	投函	子供のころ近くの川原で川遊びをしてました。最近川遊びをしている子供を見る事が少なくなりました。川遊びのできる川原があればいいと思います。	P118
110	環境	投函	雄物川の堤防では、冬の間、子供たちがソリですべて遊んでいます。夏でも遊べるように、堤防にすべり台を作ってほしいです。すべり台は、堤防の斜面を利用してできるし、大人から子供まで楽しめます。子供たちが集まる場になれば良いと思います。	P118
111	環境	投函	川を身近に感じることができる施設やイベントの実施を望みます。	P118
112	環境	投函	親水対策が可能な施工が、地域住民や次世代への担い手による河川行政への啓蒙に結びつくと思う。	P118
113	環境	意聴 (秋田市雄和)	平沢地区～上大部地区について、多目的な遊び場など整備してほしい。	P118
114	環境	意聴 (大仙市)	フットパスはどこまでやって、いつまでに行けるのか教えてほしい。地元と調整して整備を進めてほしい。	P118
115	環境	意聴 (横手市)	秋田パドラーズの団体の1人だが、現在の取り組みとして、雄物川を新たな観光、地域資源に役立てられないか検討している。カヌーを実際にやってみて、玉川から下流は、濁水でも支障がなく、座礁することなく楽しめるが、上流側、横手市、湯沢市では、半分以上が乗れないため、歩かなくてはならない。例えば、成瀬ダムからの補給で、濁水時に雄物川橋で何cm水位が上昇するのか等の情報を提供してほしい。	P118
116	環境	投函	河川法の基本理念を理解した上で、地域づくり、街づくりの視点から考えると、河川からの歴史、自然等の面と同時に、超高齢化の時代背景から河川を考える視点があってもいいのでは。特に医療、介護は環境と並んで将来の大きな課題である。大曲の河川敷は全国花火競技大会として活用されているが、地域に隣接する医療機関との連携で予防医学、身体回復等で社会保障費の削減の面から河川敷と中心市街地が一体となった地域づくり、街づくりとして河川を希望します。	P118
117	維持管理	意聴 (秋田市西部)	河川への土砂堆積、樹木がかなり繁茂してきているように見える。維持管理を計画的に行ってほしい。	P121, P130
118	維持管理	投函	①特に固定堰等下流の土砂堆積による中州化及び川幅減少と流下能力の低下。②ハリエンジュ他外来植物による樹林化。定期的管理で災害時水位上昇の阻止。を要望します。	P121, P130
119	維持管理	投函	京塚橋について、京塚橋の橋脚がえぐられ危険な状態になっています	P121, P130
120	維持管理	意聴 (大仙市)	花館のゴルフ場の前、姫神公園の向かいの河岸が崩れている。このままでは、堤防まで崩れる恐れがあり不安である。	P121, P130

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※[意見聴取経路]:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール:Eメール」

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	案関連頁
121	維持管理	意聴 (東成瀬村)	災害復旧工事に要望がある。同じ洪水が来れば絶対にまた崩れると誰でもわかるのに、崩れた場所しか復旧しない。災害は未然に防止することが大切と思うことから、崩れたところの前後・向かいと、次に災害が発生するような所は事前に対策を実施してもらいたい。	P121, P130
122	維持管理	意聴 (秋田市西部)	河口が狭く見える、ふさがると大変なので適切に対処してほしい。関連があるか不明だが、浜田浜海水浴場の海岸の形状が変わってきている。	P121, P130
123	維持管理	意聴 (大仙市)	河川利用で、カヌーの発着場が沢山あるのに、草がいっぱいで看板も見えなかつたりしてもったいない。整備した後に滞筋が変わって、土砂が溜まり機能していない船着き場もある。雄物川はカヌーに最適だが、流木が溜まっている箇所もある。素人だとぶつかって転覆し、大きな事故が起きる可能性もあるので、防止のための整備をお願いしたい。	P132
124	維持管理	メール	サイクリングロードのコンクリート道路をはがしてアスファルトに改修したが、なら使用に問題ない道路であった、税金の無駄遣いだ。セリオン前の秋田港人が落ちて死亡したが、鉄の梯子やパイプもないのはいつ見ても極めて危険だ、無駄な道路を作ってるくらいなら少しの予算で設置すべきだ。	P132
125	維持管理	意聴 (秋田市雄和)	新波川に流木が多いため、処理してほしい。	P134
126	維持管理	意聴 (東成瀬村)	農業水路について、欲しいときに水が来ないし、水ではなくてゴミが来る。水路にゴミが詰まってあふれるので、対処してほしい。	P134
127	維持管理	メール	河口からの距離が 丁寧に200メートル毎に立てられています(カッパの絵、100メートルや300メートルもある)が、この距離が あまりにもでたらめでジョギングやウォーキングの距離測定には信用できず、かえって迷惑です。歩数計測で何度も確認したがバラバラで本当の距離が分かりません。いったいどのようにして標識を立てたのでしょうか！？ 思うに、完成後の距離の確認検査など無いことを知っていて工業者が、それこそ出鱈目に標識を敷設したのでしょうか。税金をふんだんに使った予算で業者は大儲けしたのでしょうか。役所もでたらめです。この責任はどうなるの!?	本資料P10
128	維持管理	投函	一級河川の管理は県ではなく国が担うべきと思います。	本資料P10
129	維持管理	意聴 (湯沢市)	ダムの寿命に関わる堆砂について教えてほしい。	P56, P146
130	維持管理	投函	河川区域での氾濫が度々あります ダムの放流は適切に行って下さい	P139
131	維持管理	意聴 (横手市)	河川区域内において、ダムの放流等で川沿いの田畑が浸水するため、解消を要望する。	P139
132	危機管理体制の整備・強化	意聴 (横手市)	ダムの放流時に、ダムの放流情報の連絡がないので連絡がほしい。ダムの放流から約2時間後に最高水位に達する。	P137, P139 P143
133	危機管理体制の整備・強化	意聴 (大仙市)	洪水ハザードマップについて、知ってるようで知らなかった。昭和62年洪水で浸水があり、1mも浸水するなら、周辺は老人だらけで、洪水時にどうやって逃げれるのか非常に不安である。	P137, P139 P143
134	危機管理体制の整備・強化	投函	7月、山口県、兵庫県の集中豪雨で避難勧告の伝達不十分やタイミングを逸したため死者が出るなど被害が拡大しました。そうした事実を踏まえ 課題の提起①災害発生時の素早い情報伝達のため避難勧告、指示の判断基準の明確化。機能する体制にあるのか?②危険水位の監視と避難勧告発令のタイミングと徹底。定点監視カメラによる監視と迅速的確な判断。③行政とのホットラインの確保、いつでもつながる体制か?	P137, P139 P143
135	危機管理体制の整備・強化	投函	ダム建設の時代は終わりました。これからは遊水池やはらん原の確保を考えたり、洪水情報の伝達などが重要と思います。	P137, P139 P143

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※[意見聴取経路]:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール:Eメール」

パブリックコメント意見一覧【参考】

NO.	意見分類	意見聴取経路	意見	案関連連頁
136	危機管理体制の整備・強化	投函	上流部には急峻な地形が多く観光資源にもなっていますが、地震やなだれで天然ダムが形成された場合の対策は盛り込まなくてもよいのか。防止策は必要ないか。	P137, P139 P143
137	河川整備計画全般	投函	農業を営む者にとって、河川の水は田・畑を潤し、生活の糧を与えてくれる重要な資源ですが、ひとたび洪水になると、田・畑あるいは家までも奪ってしまうことがあります。河川流域の住民が安心して生活できる河川整備計画となるよう期待しています。	P1, P147
138	河川整備計画全般	投函	地球温暖化等に伴う、自然環境の変化により、想像を絶する豪雨災害等に対して、地域住民の生命と財産を守るためにも、河川整備は必要だと思いますので、基本理念に則り、計画を進めていただきたい。	P1, P147
139	河川整備計画全般	意聴 (秋田市西部)	これまでの国土交通省の事業で安心して暮らせている、感謝している。なるべく早く計画の策定を行ってほしい。	P1, P147
140	河川整備計画全般	意聴 (東成瀬村)	今回の計画は初めて聞きました。綿密な計画に感銘しております。	P1, P147
141	河川整備計画全般	メール	「雄物川水系河川整備計画（素案）」ご苦勞様でした。パブコメとして送らせていただきます。整備計画審議は学識懇の方々から提案されたものようですが、この方々にいわゆる地域一般の民間人の審議参加が充分に行われたのか不満に思います。地域の具体的事実をつぶさにこの60年間、私は見てきましたが、その事実の反映を認められません。審議は地域に開かれたものという原則がいまだに守られていない硬直的な会議の持ち方に対して、今回の整備計画の趣旨とは反していると感じさせていただきます。1 委員の選定原則(公開・住民参加)が正しく行われなかった(官主導)。2 会議は公開ということは以前から知っていたが私たちは知らなかった、プロセスに問題あり。3 議事録は公開の原則からは遠いものである。僭越ではありますが、わたしたちの属する「成瀬の水とダムを考える会」は、ダム反対のための集まりではありません。規約や、これまでの10年以上の活動を素直に見ていただければご理解いただけると存じますが、ほかに類似の地域民活動はあろうと思いますが、どの程度そうした自主的な地域住民の活動や知恵へのご配慮はあったのでしょうか。自分たちの地域についての将来が、地域民無視で進行する、官主導だけでスルスルと進行する寂しさをご理解ください。・次に、もし今後も検討を慎重に継続される場合に考慮すべきと思われる、審議内容にかかわる二三の原則的観点について思いつくままに列記します。1 河川管理が自然の河川との共生という観点を貫くならば、いわゆる堤防外である堤防に囲みこまれた河川だけを見るのではなく、堤防内である平地部分(農耕地・居住地道路他など)、扇状地などの全体を対象にした審議が行われないと、この問題を見通すことはできないのでは。2 雄物川中流域皆瀬水系の一例。旧河川敷跡など、かつては洪水常習地帯であった。たとえば現在の農業排水路M2は旧大戸川(旧成瀬川)跡をなぞっているが、浅舞い町十五野・吉田村石塚・田ね森村焼野(釜蓋東あたり?)・根田か地域などが存在しており、そして一方各地に点在する大きな森林が分布していた。それらの果たした河道への伏流水維持供給機能を、今後どう評価し回復管理するか、自然の維持そのものだけでなく、地域の景観・生活・河道管理と密接にかかわっていると考えるが如何。3 河川管理は生活や景観・自然環境における価値とつながるが、狭い意味での「水ビジネス」とも大きく今後は関連する。その場合の「水の価値」についての議論はどの程度話し合われたのか不明であり、またこの問題が将来にわたり、さまざまな不安を惹起する要因ともつながる恐れを指摘しておきたい。	本資料P12
142	河川整備計画全般	投函	毎年豪雨被害を被り混迷しております。雄物川水系河川整備計画の早期策定と安全安心のできる雄物川の実現を目指し取り組んでほしい。	P147
143	河川整備計画全般	投函	お金がかかっても、きっちり整備していただければ助かります。	P147
144	河川整備計画全般	意聴 (湯沢市)	秋田県で一番の雄物川を、計画的に「100年」「150年」に1度の洪水に対しても大丈夫とする途方もない計画だが、それも安心・安全に対する心意気だと思うが、この計画の事業費は実現可能なのか。	P147
145	河川整備計画全般	意聴 (東成瀬村)	秋田湾開発の大玉製紙の取水を見込んだ玉川ダムだったが、取りやめによる需要が減った。あの辺の景観は、樹海を渡る感動があったが、今は、無味乾燥の思いであり、費用対効果を疑問に感じている。無駄な投資として、道路、河川、ダムが挙げられているなか、税金は無駄にしないようお願いしたい。	P147
146	河川整備計画全般	意聴 (羽後町)	地域の意見を聴く会は定期的に実施しているのか教えて欲しい。	P147
147	河川整備計画全般	意聴 (横手市)	昭和22年の大災害では、岩崎の鉄橋が流された。その付近に住んでいるが、行政からの援助があつて早期に復興でき、その後、皆瀬ダムができ、堤防ができ、最近は大災害がなくなった。治水・利水・環境、特に環境問題については、最近うるさくなっており、農地環境保全を進めている。環境やその他についても、地域と連携して、情報提供をいち早くやっていただきたい。そうすることが、地域住民も参加しているという思いになる。	P147
148	河川整備計画全般	投函	「意見を聴く会」では、分かりやすく説明してくれ、質問にも率直に答えていたので、好感が持てた。	P147
149	河川整備計画全般	投函	洪水を防ぐ為の河川整備は非常に重要だと思います。ただ、近年の洪水被害については林野行政の誤りによるものが大きいと思います。国同志で相反する行政の進めかたに疑問があります	P147
150	河川整備計画全般	投函	国土交通省、農林水産省の連携のとれた整備計画を望みます。砂防ダムについては基本的な考え方が両省の間に大きな違いがあるように思います。既存砂防ダムのスリット化等も特に県南部では遅れているのではないのでしょうか	P147
151	その他	意聴 (秋田市雄和)	過去の洪水ごとの雨量について、心の準備になるので情報提供をお願いしたい。	P14, P143

※個人情報等が特定できる内容については、一部表現を修正しています。
 ※【意見聴取経路】:「意聴:意見を聴く会」、「投函:はがき・意見募集用紙等」、「メール: Eメール」